

2026.07.09 ~ 07.14

# なぜ今、フィンランドなのか？

## 2030年代の住宅・まちづくりを 先に見に行く視察旅行

住宅・福祉・公共施設・エネルギーを一体で設計しているフィンランドで、今後の事業ポートフォリオと投資の“軸”を考える経営者・幹部向け視察です。

### 日本の住宅・不動産業界の 未来がここにある！！



「街全体を『2030年代の暮らし』としてデザインした住宅フェアの現場へ。」

住宅会社・ビルダー  
不動産会社のみなさまへ

ZOOM個別説明受付中

スケジュール・費用・視察資料は  
HPでご覧いただけます

日本でこれから推進される  
「GX住宅」「資産価値」「街づくり」  
すでに完成形で並んでる  
「次世代の標準住宅」を  
リアルに体感しに行きませんか？



# 2035年カーボンニュートラルの国：フィンランド

## 「この視察で見に行く、3つの“視点”」

### 1：住宅・福祉・公共・エネルギーを一体で見る

高齢者施設、住宅地、図書館、学校、エネルギーシステムを別々の案件ではなく、「一つの生活インフラ・基幹施設」として実際に完成された現場を視察します。

### 2：2035年カーボンニュートラルを前提にした事業のかたち

省エネ住宅だけでなく、再エネやまちのスケールも含め2030年のカーボンニュートラルを目標としている第一都市ヘルシンキや第二都市タンペレを視察します。

### 3：人口減・高齢化でも持続するまちづくり

既存ストックを活かしながら、コンパクトタウン化や用途転換、福祉機能の導入で価値を再設計している街・団地を訪問します。

## 「主な視察先」・・・詳細説明はHPにて

#### GX型の次世代まちづくり

住宅フェア会場：2030年代の暮らしを先取りした住宅・街区コンセプト

コンパクトタウン  
縮小しながら質を上げる街・団地の再設計

#### 非住宅・空間づくり

高齢者住宅・ケア施設  
地域に開いた“居場所”としての設計

図書館・学校・公共施設  
多世代が集まる生活の“ハブ”となる公共建築

#### デザインと建築文化を体感

北欧デザイン・建築文化  
アルヴァ・アールト建築など暮らしと調和した公共建築・住宅のデザイン体験

歴史的街並み：マーケットなど、日常の暮らしが見えるエリア散策



2018年時の写真



中央図書館



タンペレの街並み

 **SHIMIZU**  
清水英雄事務所株式会社

住所：〒114-0011 東京都北区昭和町 1-9-18  
Tel：03-3810-1565  
Email：[info@au-shimizu.co.jp](mailto:info@au-shimizu.co.jp) 担当：山本



ホームページ



お問い合わせ